



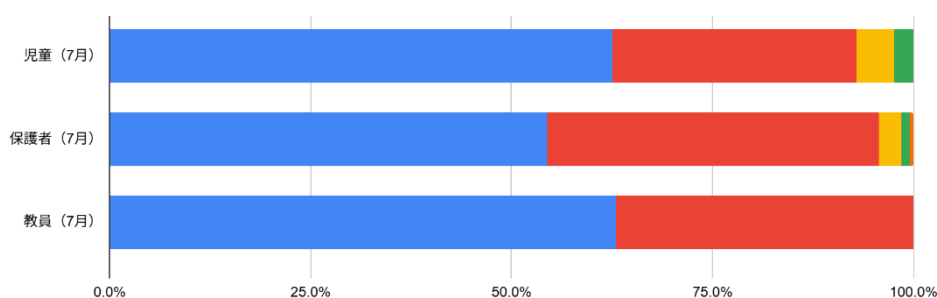
令和7年度 学校評価のご報告

保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。心より感謝申し上げます。このたび、令和7年度（前期）学校評価についてご報告いたします。（回答率 児童91% 保護者24.6% 教員100%）

【評価内容と集計結果・分析】

■ そう思う ■ まあまあそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない ■ 判断できない・わからない

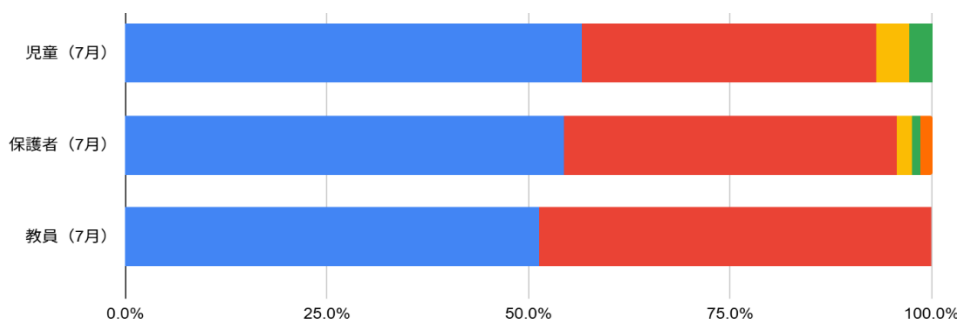
①児童は、学校生活を楽しいと感じている。
(児童:学校生活は楽しい)



	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	判断できない・わからない
児童	62.6%	30.3%	4.7%	2.4%	—
保護者	54.4%	41.3%	2.8%	1.0%	0.5%
教員	62.9%	37.1%	—	—	—

児童・保護者・教員のいずれにおいても、9割以上が肯定的に評価しており、学校生活全体の充実度が高いと考えられます。一方で、「そう思わない」と答えた児童が4.7%、保護者が2.8%います。学校生活に十分な満足を得られていない児童や、学校に対して不安を感じているご家庭の存在を受け止め、一人一人に向き合ってまいります。楽しくないと答えた原因を検討し、教育相談を活用しながら、悩みや不安を抱える児童や保護者の声に丁寧に耳を傾けていきます。

②児童は、学習の基礎・基本を習得している。(児童:漢字や計算などの基礎的な学習は身に付いている)

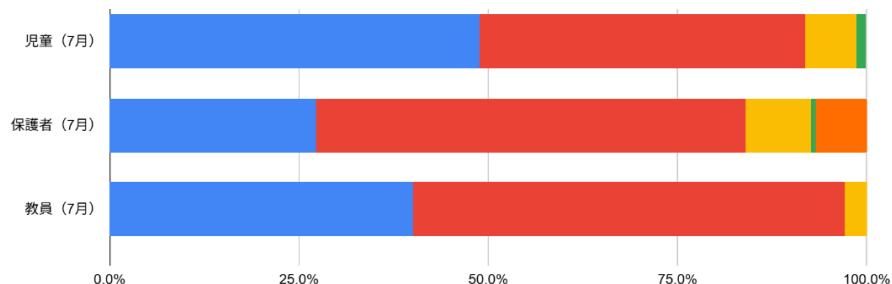


	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	判断できない・わからない
児童	56.6%	36.6%	4.1%	2.7%	—
保護者	54.4%	41.3%	1.9%	1.0%	1.4%
教員	51.4%	48.6%	—	—	—

全体として、多くの児童が基礎・基本の学習を身に付けており、保護者の方も概ね肯定的に評価していただきました。一方で、学習に自信がもてない児童や不安を感じていると回答した保護者の方も一部あります。

今後は、授業内での反復練習や学習の工夫を通じて、基礎・基本の定着を更に図ってまいります。また、家庭でも学習内容を振り返る習慣を付けるよう協力をお願いし、児童が自信をもって学びを進められるようにしてまいります。

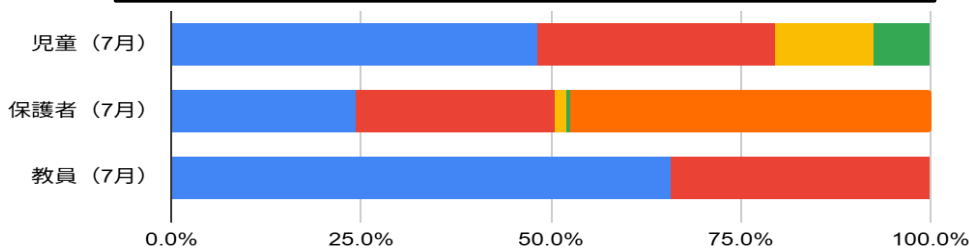
③児童は、集団生活のきまりを守り、場に応じた挨拶や言葉遣いが身に付いている。
(児童:学校のきまりを守り、自分からすすんであいさつをしていますか)



	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	判断できない
児童	48.9%	42.9%	6.8%	1.4%	—
保護者	27.2%	56.8%	8.7%	0.5%	6.8%
教員	40.0%	57.1%	2.9%	—	—

多くの児童が集団生活の基本的な習慣を身に付けており、教員も概ね肯定的に評価しています。一方で、保護者からの評価はやや低めで、「そう思わない」と答えた児童・保護者も一部見られます。今後は、学校では授業や行事の中で挨拶や言葉遣いの指導を引き続き行うとともに、日常の活動を通じて児童の成長や取組の様子をお伝えしてまいります。また、家庭でもお子様への言葉掛けを実践していただきながら、集団生活の習慣を更に定着させていきたいと考えています。

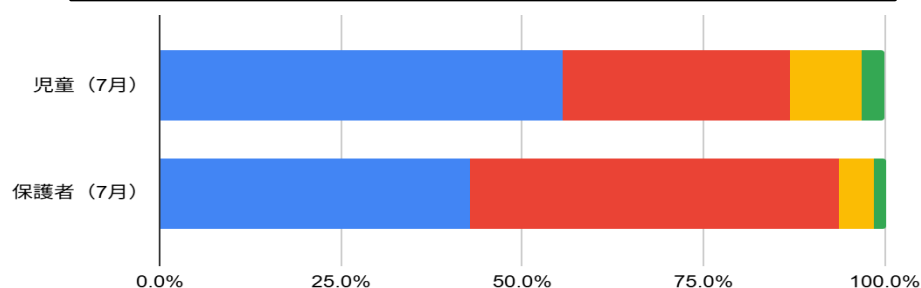
④学校は児童同士のトラブルに適切に対応し、早めに解決できるように努力している。
(児童:いじめやともだちどうしのトラブルでなやんだときに、先生にそうだんできますか。そうだんをしたら先生はかいけつしてくれますか)



	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	判断できない
児童	48.1%	31.3%	13.0%	7.6%	—
保護者	24.3%	26.2%	1.5%	0.5%	47.5%
教員	65.7%	34.3%	—	—	—

多くの児童は先生に相談できる環境があると感じており、教員も全員が肯定的に捉えています。一方で、児童の一部や保護者の中には、相談や対応について不安を感じている方もいます。本校では、スクールカウンセラーが週に 2 回勤務しており、児童の気持ちに寄り添えるよう相談や支援を行っています。また、「こころのふれあい相談員」も常勤しており、日常の学校生活の中での悩みや困りごとにも丁寧に対応しています。今後も、児童が安心して相談できる環境を整えるとともに、保護者の皆さまにも相談体制や支援の仕組みをご理解いただきながら、学校と家庭が協力して児童を見守ってまいります。

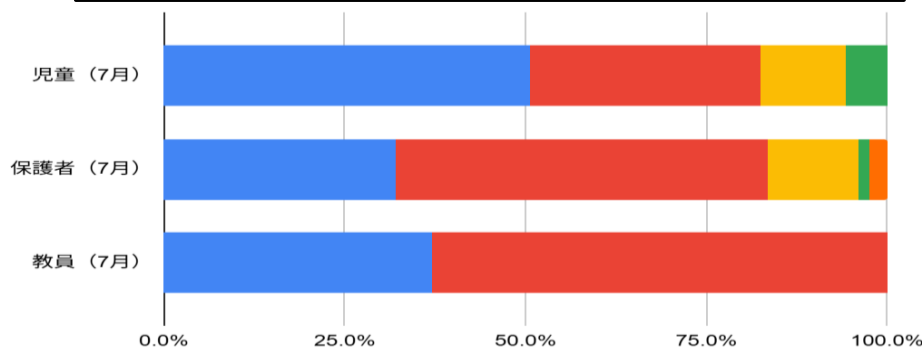
⑤児童は基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ごはんなど)が身に付いている。



	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	判断できない
児童	55.6%	31.3%	9.9%	3.2%	—
保護者	42.7%	51.0%	4.9%	1.4%	—

全体として、多くの児童が基本的な生活習慣を身に付けています。登校時刻に遅れる児童は 1 日あたりおよそ 20 人前後で全体の約 2～3%にあたる児童が遅刻していますが、固定化の傾向があり、全体として決して多くはなく、生活リズムは概ね安定していると考えます。今後も、授業や日常の指導を通じて生活リズムの大切さを伝えるとともに、家庭でも早寝・早起き・朝ごはんの習慣づくりを意識していただくようお願い申し上げます。家庭と学校が協力して、児童が健康で規則正しい生活を送れるよう支えてまいります。

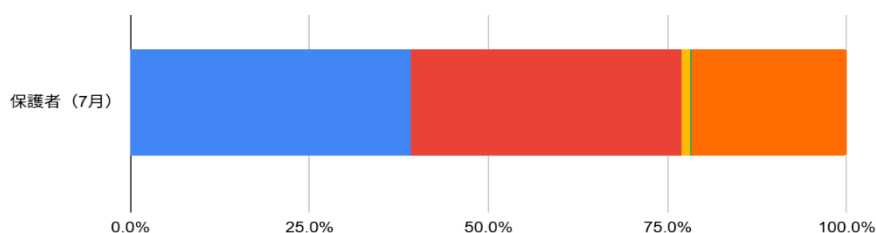
⑥お子さんは、自分に自信をもち学習・生活をしていますか。
(児童:自分に自信をもって学習していますか)(教員:児童の自己肯定感・自尊感情を高める指導を行っていますか。)



	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	判断できない
児童	48.1%	31.3%	13.0%	7.6%	—
保護者	24.3%	26.2%	1.5%	0.5%	47.5%
教員	65.7%	34.3%	—	—	—

児童の約 8 割が自信をもって学習や生活に取り組んでおり、教員も肯定的に評価しています。一方で、自信を十分にもてないと回答した児童や保護者の方も一部います。学校では発表場面を意図的に設定し、成功体験を積ませる指導を行い、家庭でもできたことや頑張ったことをほめる言葉掛けをお願いして、児童の自信を育ててまいります。

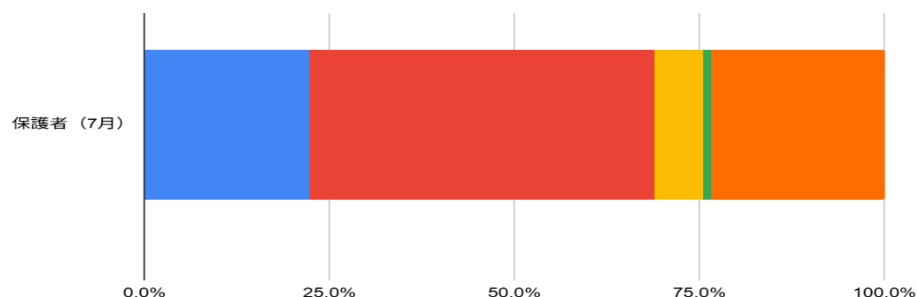
⑦台風・降雪等の緊急時の対応は適切になされていますか
(sigfy、ホームページなど)。



	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	判断できない
保護者	39.1%	37.9%	1.1%	0.2%	21.7%

緊急時の対応(台風・降雪など)については、7割以上の保護者の皆さまから肯定的な評価をいただきました。現在、本校では sigfy を活用し、迅速かつ確実に情報をお届けできるよう努めています。メールなどと比べると受信の確実性が高く、保護者の皆さまに安心していただける点が大きな利点です。一方で、「分からない・判断できない」と回答された方が 2 割程度おられました。今後は、sigfy の利用方法や緊急時の連絡手段についてあらためて周知を図り、より安心して受け取っていただけるよう取り組んでまいります。

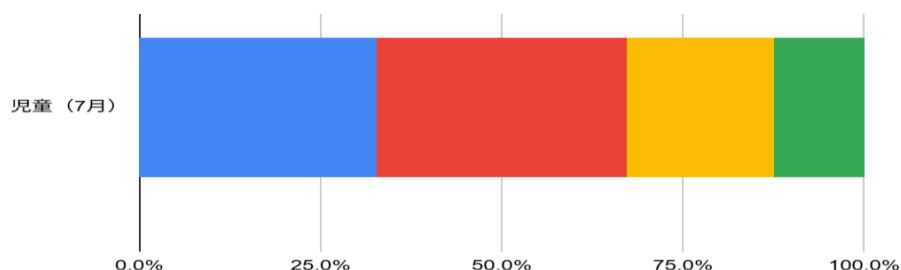
⑧安全・安心ボランティアの活動を推進するなど、連携による安全確保は十分であると思いますか。



	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	判断できない
保護者	22.3%	46.6%	6.6%	1.1%	23.4%

地域や保護者による安全・安心ボランティアの活動については、約 7 割の方から肯定的な評価をいただきました。日々の登下校の見守りや校外での安全確保に、多くのご協力をいただいていることに心より感謝いたします。本校ではセキュリティの観点から電子錠を導入していますが、児童も自分の身を守る意識をもつことが大切です。そのため、保護者の皆さまによるボランティア活動のご協力も引き続きお願いしたいと考えています。現在、参加してくださっている方は限られており、同じ方に何度もご協力いただいている状況です。また、「分からない」と回答された方も一定数見られ、活動内容が十分に周知されていないこともあります。今後は、sigfy やホームページで活動の様子を発信するとともに、より多くの方にボランティアへの参加をお願いしてまいります。地域と学校が力を合わせ児童の安全・安心を支えていきたいと考えています。

⑨授業以外に先生と話をする時間はありましたか。



	そう思う	まあまあそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	判断できない
児童	32.7%	34.5%	20.3%	12.5%	—

児童の約 7 割は授業以外でも先生と話す機会があり、教員も大変うれしく感じています。一方で、一部の児童は十分に話せなかったと感じています。話せなかった理由としては、時間の制約や恥ずかしさ、誰に話せばよいかわからないことなどが考えられます。本校では、授業後や休み時間など、話しやすい環境づくりを進めています。今後も気軽に先生と話せる機会を更に増やし、安心して学校生活を送れるよう努めてまいります。